

令和5年度

事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会

短期入所事業所「かのん」

(短期入所(福祉型)単独型事業)

## 1、はじめに

新型コロナウイルスが2類から5類に移行され行動制限などの配慮が勘案されたが、当法人の単独型短期入所の事業については、引き続き利用者職員の検温・健康チェック・各所消毒・換気などの感染防止について対応を行い実施してきた。

福祉サービスの提供事業所の使命があり、希望される利用者については検討し受け入れを行ってきたが、医療対応など困難なケースについては厳しいと判断することもあった。火災想定避難訓練を実施した。

スタッフ会議等で共有する事項の確認を行い、特に虐待防止に関する各報道案件について検証及び学習・意識の向上について協議研鑽を積み重ねていった。

利用回数の全体数は前年比微増であった。緊急相談ケースがあり関係各所調整により対応支援を行った。川沿事業運営部所属として生活介護事業所職員の協力を得ていた部分について、新規職員の採用により負担減につながられた。

北海道胆振総合振興局による実地指導があり、事業内容の紹介・関係書類での内容報告等を行い監査の結果、適正執行の報告を受けている。

## 2、活動内容

### ・申込対応

家族より依頼を受け日程を整理。必要により日中活動事業所との調整を行った。行政機関との連絡調整を行った。新規利用希望者については事業説明の後利用契約を行った。

### ・日常支援

在宅より、又は日中活動事業所より入居の受け入れを行った。

#### 支援内容

居室(個室・3室)及び居間にて余暇を見守った。

バタリック、入居時や毎朝の検温等により健康管理を行った。

食事支援、世話人により提供し必要に応じ介助支援を行った。

入浴支援、必要に応じ介助支援を行った。身体チェックを行った。

排せつ等支援、必要に応じ声掛け介助支援を行った。

睡眠、見守り支援定期巡回により確認を行った。

起床整容、必要に応じ声掛け介助支援を行った。

消耗備品の交換等随時行ってきた。

保護者との連絡調整・引き継ぎを行った。

### ・支援記録

利用契約書、重要事項説明書の内容に基づいて支援を行った。

日常の利用者の状況について支援日誌へ記載により記録での整備を行った。

### ・スタッフ会議

短期入所に携わる管理者・支援職員による利用者の支援為の業務確認や共通認識の周知徹底を図っていった。

令和5年度短期入所事業「かのん」(単独型)～月別利用実績～

定員 3 名 ( )内は女性

月	利用人数	延べ 利用回数	利用人数内訳					
			区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童区分3
4	24(8)	90(26)	0	2	2	9	9	2
5	23(8)	75(29)	0	1	3	8	9	2
6	21(7)	70(21)	0	2	2	7	9	1
7	23(7)	85(25)	0	1	2	9	10	1
8	21(7)	78(23)	0	2	3	7	8	1
9	19(6)	72(23)	1	2	2	8	6	0
10	18(6)	63(19)	0	1	2	8	6	1
11	20(7)	73(23)	1	1	2	9	7	0
12	22(7)	73(26)	0	0	4	9	8	1
1	22(7)	84(24)	0	1	3	8	9	1
2	23(7)	89(21)	1	0	3	10	8	1
3	22(7)	89(21)	0	0	3	8	9	2
合計	258(84)	941(291)	「R4…258 (86) 、 916 (285) 」					
平均	21.5(7.0)	78.4(24.3)	「R4…21.5 (7.2) 、 76.3 (23.8) 」					

日中一時利用実績

月	利用人数「R5」	利用人数「R4」
4	0(0)	0(0)
5	0(0)	0(0)
6	0(0)	0(0)
7	0(0)	0(0)
8	0(0)	0(0)
9	0(0)	0(0)
10	0(0)	0(0)
11	0(0)	0(0)
12	1(1)	0(0)
1	0(0)	0(0)
2	0(0)	0(0)
3	0(0)	0(0)
合計	1(1)	0(0)
平均	0.08(0.08)	0.00(0.0)